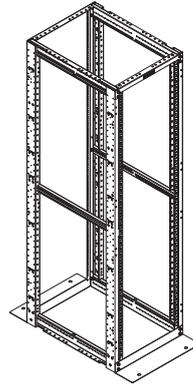


R4P**CN**

- (2) サイドチャンネル
- (2) ベースアングル
- (2) 上部ブラケット
- (1) ハードウェアキット
 - (25) #12-24 インチケージナット
 - (25) #12-24 x 0.5 インチネジ
 - (16) ボンディング用ワッシャー
 - (16) 3/8 x 1 インチボルト
 - (1) 酸化防止ジェル



R4P****

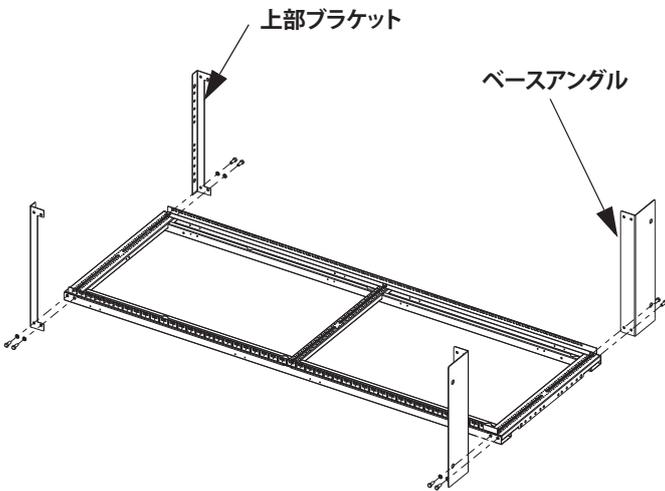
- (2) サイドチャンネル
- (2) ベースアングル
- (2) 上部ブラケット
- (1) ハードウェアキット
 - (25) #12-24 x 0.5 インチネジ
 - (16) ボンディング用ワッシャー
 - (16) 3/8 x 1 インチボルト
 - (1) 酸化防止ジェル

手順 1

床または丈夫な台に片方のサイドチャンネルを置きます。3/8 インチのボンディング用ワッシャーが接触する塗装面に酸化防止ジェルを塗ります。3/8 インチボルトとボンディング用ワッシャー (8) を使ってベースアングルと上部ブラケットを取り付けます。

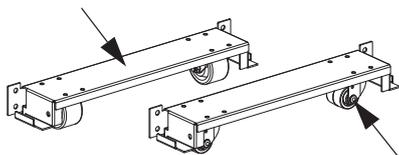
この時点ではボルトを完全に締めないでください。

注意: ベースアングルはラックの底部に、上部ブラケットはラックの上部に取り付けます。各ポストの外側にダイヤ形がある方が底部です。手順 2 の拡大図を参照してください。



注意: キャスターブラケットキット (RCSTR) を使う場合は、取扱説明書 CM450 を参照してください。

固定キャスターおよび
ブラケットアセンブリ

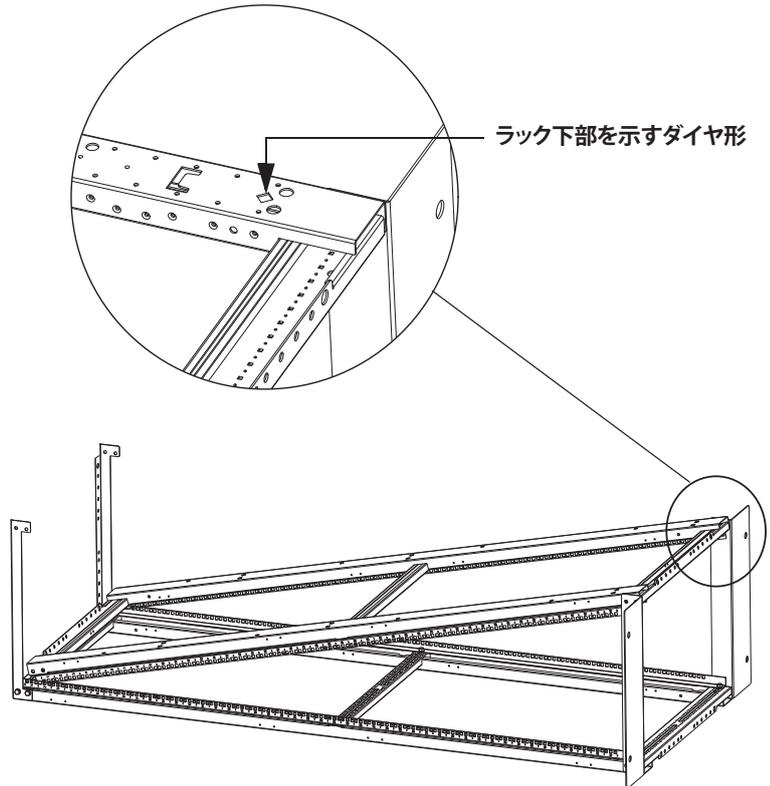


回転キャスターおよびブラケットアセンブリ

手順 2

もう 1 つのサイドフレームを図のように配置します。3/8 インチボンディング用ワッシャーが接触する塗装面に酸化防止ジェルを塗ります。3/8 インチボルトとボンディング用ワッシャーを使ってベースアングルに取り付けます。片側につき 1 つずつ利用します。

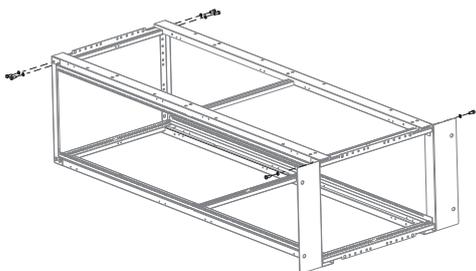
この時点ではボルトを完全に締めないでください。



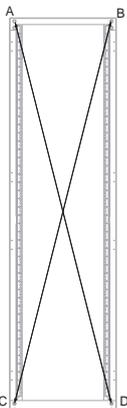
手順 3

手順 2 で固定した 2 つのベースアングルを支えにして、今度はサイドチャンネルの上部を 2 つの上部ブラケットの取付穴に合わせます。残りの 3/8 インチボルトとボンディング用ワッシャー (6) を下の図の位置に取り付けます。ラックをまっすぐに立てます。#12-24 インチネジ穴またはケージナットの幅ピッチが EIA の 465mm 間隔であることを確認します。ラックを垂直にし、3.2 に示す A から D、B から C の距離を測ります。A から D と B から C の距離の差は、3mm 以下である必要があります。ラックを水平にし、3.3 に示す E から H、F から G の距離を測ります。E から H と F から G の距離の差は、3mm 以下である必要があります。すべてのボルトを、14 ft.-lbs (19.0 N-m) 以上で完全に締めます。

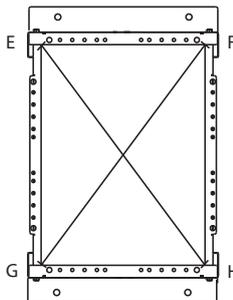
3.1



3.2

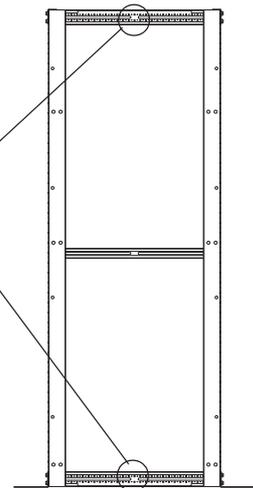


3.3



接地

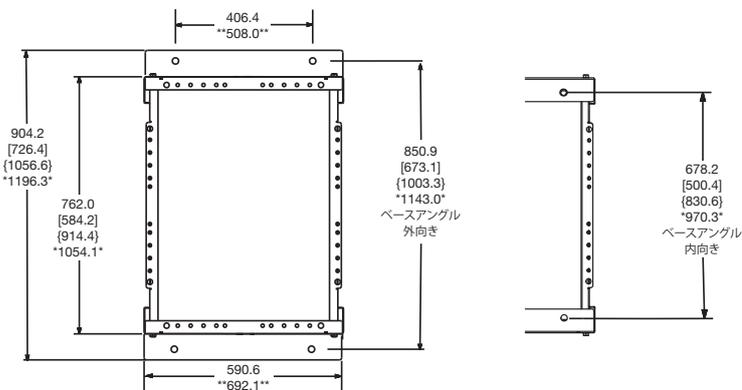
接地位置



2 穴の接地端子は、サイドチャンネルの上部と下部のレール上にあります (上図を参照)。取り付け前に塗装をはがしてください。

ラック底面図

下記の底面図を使って取付穴や全般的なサイズ情報を確認し、ラックを床に固定してください。



寸法はミリ単位です。

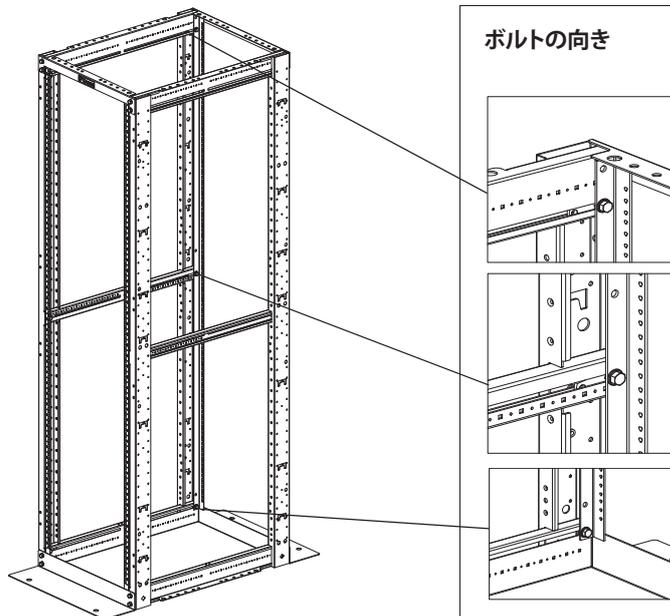
- X.XX は、奥行 762mm の 4 ポストラックの寸法
- [x.xx] は、奥行 584mm の 4 ポストラックの寸法
- {x.xx} は、奥行 914mm の 4 ポストラックの寸法
- *x.xx* は、奥行 1054mm の 4 ポストラックの寸法
- **x.xx** は、幅 584mm の 4 ポストラックの寸法

注意: 最大強度、耐荷重および安全性を確保するため、いかなる用途でも床取付ボルトを使用する必要があります。最大耐荷重は 1134 kg (2500 lbs) です。ラックは、重い機器ほど下に取り付け、前から後ろに向かって支えるように設計されています。棚板(別売)をラックの前面および背面に取り付けて機器を支えることもできます。多くのメーカーでは特定の機器を支える棚板 (またはクレードル) を提供しています。メーカーがクレードルを提供していない場合は、取付前に取付方法についてパンドウイトにお問い合わせください。

調整可能 EIA 対応マウントレール

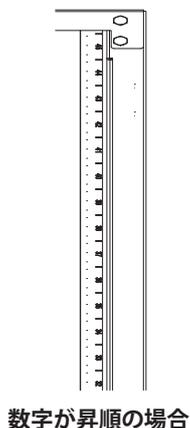
4 本のマウントレールはすべて調整可能です。奥行きを調節するには、5/16 インチ - 18 X 3/4 インチ取付ボルト (3) を緩め、希望の位置までスライドさせます。ボルトは、ワッシャーをかみ合わせて 20 ft.-lbs で締め直します。

フロントレールを 25mm 奥に設置することをお勧めします。これにより、熱とケーブル管理を最適化できます。新しいエアダクトとの互換性を持たせる場合、フロントレールを 38mm 以上奥に設置することはできません。

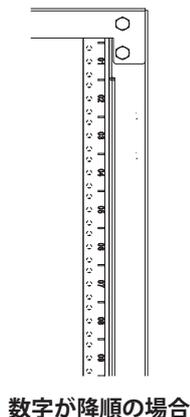
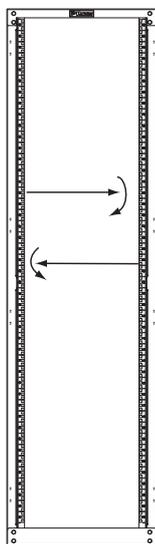


反転可能 EIA 対応マウントレール

ラックには「昇順」の数字が示されたレールが取り付けられています。左右のレールを両方も反転させることで、数字を「降順」で示すことができます。数字を「降順」にするには、まず各レールの 5/16 インチ - 18 X 3/4 インチ取付ボルト (3) を外します。番号が「降順」になるように右のレールを反転させ、「ボルトの向き」の図に従ってサイドフレームの左側に固定します。同様に、番号が「降順」になるように左のレールを反転させ、「ボルトの向き」の図に従ってサイドフレームの右側に固定します。

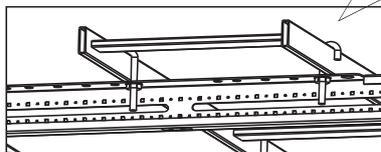


数字が昇順の場合

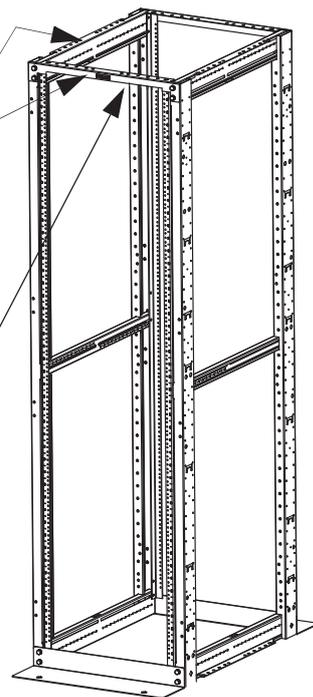


数字が降順の場合

J ボルト取付穴を使ってラダーラックを 4 ポストオープンラックに固定します。



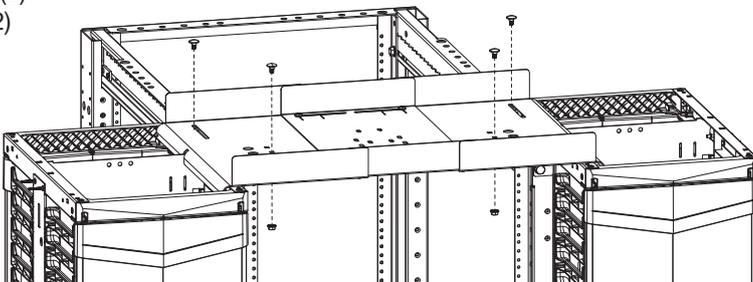
直径 9.5mm 以下の J ボルトを使用すると、上部のラックスペースに干渉することなく、直接トップアングルに取り付けることができます。



PR2VWF/PE2VWF

1. 図に示すように、ウォーターフォールのスロットを管理パネルのバックボーン部の縁に合わせます。
2. ウォーターフォールの穴とラックの穴を合わせます。
3. 以下を使って部品を締めます。

- M6 x 12mm ネジ (2)
- M6 鋸歯状ナット (2)



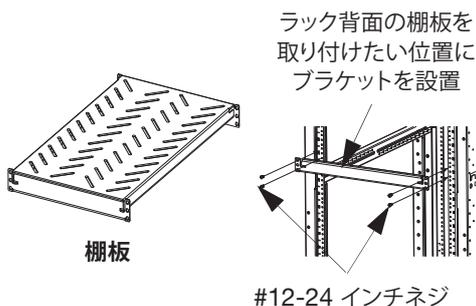
RSHLF- 奥行 762mm オープンラックの棚板

RSHLF23- 奥行 584mm オープンラックの棚板

RSHLF36- 奥行 914mm オープンラックの棚板

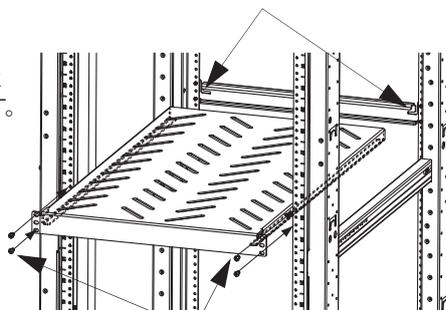
注意: 棚板の奥行の半分以上の間隔でレールを配置する場合、棚板の定格荷重は 124 kg (275 lbs) です。

棚板を背面取付ブラケットのスロットにスライド



ラック背面の棚板を取り付けたい位置にブラケットを設置

#12-24 インチネジ

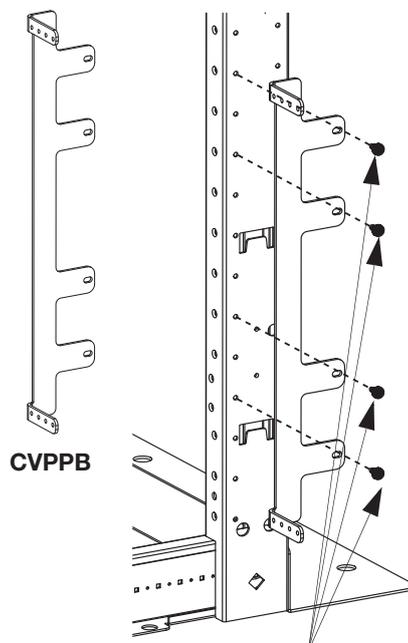


#12-24 インチネジ (4) で固定

注意: 棚板は、付属の機器取付フランジで大型ネットワーク機器を支えるように設計されています。

CVPPB (0RUブラケット): 1RU EIA

19 インチ対応パッチパネル取り付け用の 0RU ブラケットをマウントレールに取り付けます。

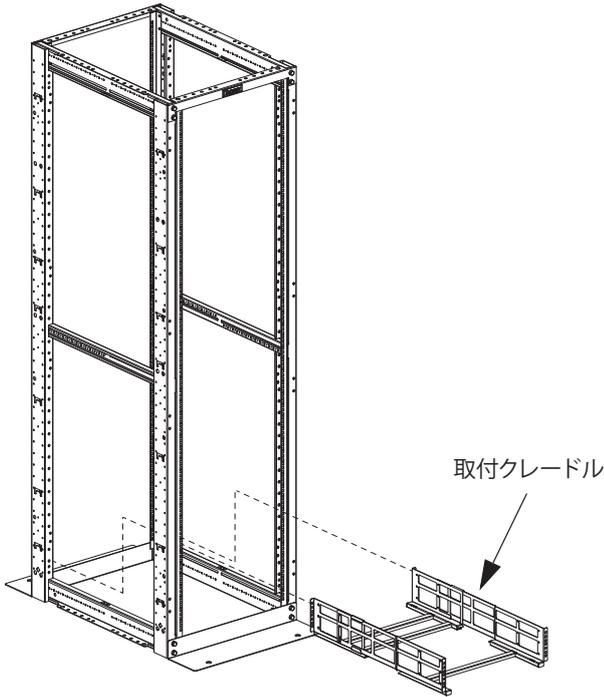


CVPPB

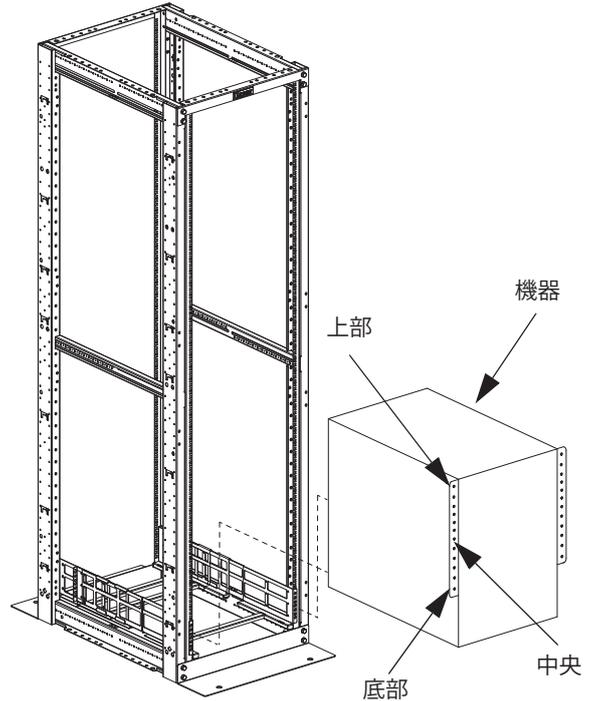
#12-24 インチネジを使って希望の穴の位置に固定

マウントレール取付側

大型機器の取付- 取付クレードル (機器に付属) を取り付けます。以下の取り付け例を確認してください。



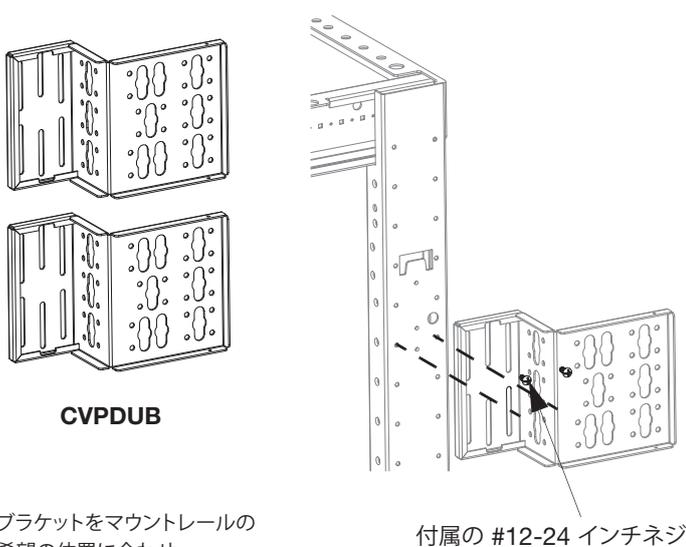
大型機器の取付- 機器を取り付けます。ハードウェアの取付と固定を行う際はまず、底部、上部、中央にネジを取り付けて締めてから、残りのネジを取り付けてください。以下の取り付け例を確認してください。



大型機器の取り付け例

安定性を確保するため、大型機器はできる限り下のラックスペースに取り付けます。ラックに他のデバイスが格納されている場合は、軽いシャーシの下に重いシャーシを取り付けます。具体的な取付要件については、機器の取付説明書を参照してください。機器の設置、交換、サービス提供は、訓練を受けた資格のある担当者のみが行うようにしてください。

CVPDUB- マウントレールに取り付けるための電源コンセント用ブラケット。



ブラケットをマウントレールの希望の位置に合わせ、#12-24 インチネジで固定します。

V4PTOB-

1. R4P オープンラック取付用ブラケットをラックの上部と下部に取り付けます。M6 六角ナット (4) を使用します。
2. ラックブラケットをR4P 取付用ブラケットに取り付けます。その際に、M6 六角ナット (4) を使用します。
3. 必要なラックの高さで上部パネルを下部パネルに取り付けます。その際に、付属のネジを使います。
4. 組み立てたパネルをラックブラケットに固定します。その際に、M6 六角ナット (6) を使用します。

